

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成25年 7月 29日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 大阪府豊中市千成町3丁目5番3号		氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 松尾電機株式会社 代表取締役社長 清水 巧
環境マネジメントシステムの名称	JIS Q 14001:2004/ISO14001:2004	
適用範囲	松尾電機株式会社(7社)、島根松尾電子株式会社(2社)	
導入年月日	2000年 9月 25日	
認証番号	JQA-EM6829	
基本方針	1. 事業活動の全ての面で環境に与える影響に配慮し、健全な地球環境及び地域環境の保全に努める。 2. 環境管理活動を組織活動の枠組みに入れ、長期的な維持・発展に努める。 3. 環境目的・目標は、社会の要求に對し的確である。 4. 環境改善プロセス及び成果は、戦略的である。 5. 製品の開発、製造、販売、物流の全過程において環境に与える影響の低減に努める。 6. コンプライアンスは、徹底実現とする。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	① 廃棄物削減によるゼロエミッションを維持する。 リサイクル率目標99%以上 ② 投入数原単位排出物量2013年度までに2007年度比20%削減する。 2012年度目標 15%削減 ③ 原油換算エネルギーの総消費量を2013年度までに2007年度比13%削減する。 2012年度目標 12%削減	
目標を達成するための取組の内容	① ゼロエミッション・・・複数のリサイクル業者、処理ルートを確認する。 ② 排出物量削減・・・排出物の減容化、有価物化を推進する。 ③ エネルギー消費量削減・・・省エネ活動及び省エネ機器の導入を推進する。	
目標を達成するための取組の進捗状況	① ゼロエミッション・・・複数のリサイクル業者、処理ルート順次整備中。 ② 排出物量削減・・・排出物の有価物化を随時実施中。 ③ エネルギー消費量削減・・・インバーコンプレッサーの台数制御圧力設定の見直し	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	① ゼロエミッション・・・リサイクル率99.6% ② 排出物量削減・・・投入数原単位排出物量2007年度比+9.7% ③ エネルギー消費量削減・・・原油換算エネルギー総消費量2007年度比△14.9% ①③は2012年度(H24)の目標を達成した。 ②は生産数量減少の影響で目標未達成であった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・排水、排ガス、騒音等の法定及び自主規制値に対する順守状況を法定頻度に加え社内で定めた所定の頻度で社内測定・分析を行い確認している。 ・各種申請・届出に関しては社内手続きを経て随時実行している。 ・順守評価にて年1回順守状況を確認している。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境目的・目標は、環境方針に基づき中期経営計画で3年程度の中期的に達成すべき内容を示し、年度経営計画にその年度に達成すべき目標を示している。 環境目標の評価及び見直しの必要性は原則として年1回検討している。 平成23年度は目標通りの成果が出たことから平成24年度も中期経営計画通りの目標を掲げ活動した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。